



当行は、環境省認定
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、気候変動キャンペーン
「Fun to Share」に賛同しています。



SHIGA BANK

なるほどしがぎん
第130期

事業の ズレ 報告

2016年4月 1日

～

2016年9月30日



しがの助



発行／2016年12月 編集／滋賀銀行 総合企画部 広報室 電話／077(521)2202

<http://www.shigagin.com>

Change & Challenge

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、当行ならびに「しがぎんグループへのご理解を一層深めていただくことを願い、ミニディスクロージャー誌「なるほどしがぎん」を作成しました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

日本経済は、新興国経済の減速などから輸出・生産面に鈍さがみられるものの、緩やかな回復基調にあるものと思われる。一方では、人口減少や少子高齢化、AIやIoTの技術革新などを背景に、人口動態や社会構造、経済構造の変化が加速度的に進展していくものと考えています。

このような環境下、当行は2016年4月より、長期的に目指すべき姿を「未来創造銀行『The・ちぎん』」、メインテーマを「チェンジ&チャレンジ」とする第6次中期経営計画をスタートさせ、①お客さま対応スピードのチェンジ②組織運営スピードのチェンジ③コスト構造のチェンジの「3つのチェンジ」と①地方創生への挑戦②トップライン増強への挑戦③生産性向上への挑戦④強靱な経営基盤構築への挑戦⑤戦略的CSRへの挑戦の「5つの挑戦」に取り組んでいます。

当行は弛みない変革と挑戦により、CSR憲章（経営理念）に掲げる「地域社会」「役職員」「地球環境」の3つの共存共栄の実現に全力を尽くしてまいりますので、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2016年12月

取締役頭取

高橋 祥一郎



CSR憲章

[経営理念]

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

行是
自分にきびしく
人には親切
社会につくす

地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役職員との 共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

滋賀銀行データ

名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	昭和8年10月1日
総資産	5兆1,400億円
預金残高	4兆4,422億円 (譲渡性預金含む)
貸出金残高	3兆3,732億円
資本金	330億円
従業員	2,239人
店舗数	137カ店(うち代理店18カ店) (2016年9月30日現在)

CONTENTS

●ごあいさつ	1
●トピックス①地方創生	3~4
●個人のお客さまへ	5~6
●法人のお客さまへ	7~8
●国際ネットワーク	9~10
●CSRの取り組み	11~12
●財務データ	13~21
●トピックス②「しがぎん」でiDeCo	22
●中間連結財務諸表	23~24
●中間単体財務諸表	25~26
●株主の状況/株式のご案内	27~28
●役員一覧・グループ会社	29
●トピックス③しがの助	30

地方創生の実践

地域の声に耳をかたむけて 高島市の廃校舎×生キクラゲ

廃校になった小学校の利用策を模索していた高島市と、生のキクラゲを生産するアグリビジネス企業とのマッチング。キクラゲ栽培は、温度と湿度の管理が重要で、ちょうど教室大の部屋を1単位とするのが理想的。現在4教室でキクラゲを栽培、今後はさらに種類を増やす予定をされています。一見、意外な組み合わせに見えて、実はとても相性が良かったこのマッチング。地域の活性化、地元の雇用創出につながる大きな一歩となりました。



愛される地域ブランドを目指して クラウドファンディング

ミュージックセキュリティーズ株式会社と提携し、クラウドファンディングの手法を活用。地域ブランドの魅力向上や地域資源を利用した新商品・サービスの提供に取り組む事業者のサポートをしています。これまでに21件(16先)の小口ファンドを組成し(2016年9月末現在)、事業者のファン拡大を応援しています。



ほったらかし温泉ファンド
山梨県



湖北の恵み
極上になにくファンド
高島市



上原酒造
不老泉ファンド2016
高島市



連携強化で地域経済を盛り上げる 滋賀大学と「包括的連携協定書」を締結

2016年10月5日、ビッグデータ分析による地域経済社会への貢献を目指して、滋賀大学と「包括的連携協定書」を締結しました。地方創生に資する具体的な取り組みや、地域の課題に対する適切な対応を行い、地域社会の持続可能な成長に貢献してまいります。



(左) 位田隆一 滋賀大学長
(右) 高橋頭取



スポーツで地域に活気を!



地域スポーツの振興・発展を通じた地域活性化を目指して、しがぎん女子バスケットボール部による小学生対象のバスケットボール教室「バスケクリニック」や、「しがぎんカップ(サッカー)」の開催、さらに滋賀レイクスターズやプロ野球滋賀県人会、滋賀ユナイテッドなどに協賛しています。



お客さま一人ひとりにもっと便利で「頼れる

寄り添って しがぎん」へ



今回で
2回目!

スマホで「いつでも」「どこでも」「簡単に」
「FinTech」でマネーフォワード社と提携

2016年3月3日、株式会社マネーフォワードと業務提携し、6月より自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード for 滋賀銀行」の提供を開始しました。今後は、相続、確定拠出年金、コンサルティング、金融教育など、FinTech事業領域における新たな金融サービスの提供を検討してまいります。

SHIGA BANK × Money Forward
「マネーフォワード for 滋賀銀行」をリリース



自動家計簿機能を滋賀銀行向けにカスタマイズ

近畿の
地方銀行で
初!!

来店不要で各種手続きが可能に
スマートフォン向けサービスが拡大

お客さまの利便性向上を目的に、スマートフォンでの銀行手続の対象範囲が拡大しています。いつでも、どこでも、快適にご利用いただくため、これからもサービスの向上に努めてまいります。

- 2015年 4月 インターネットバンキングスマホ専用画面を新設
- 2015年 4月 Sカードローン(サツキャッシング)のスマホ契約開始
- 2015年12月 消費者向け目的型ローン
フリーローンのスマホ契約開始
- 2016年 3月 「マネーフォワード for 滋賀銀行」
の提供開始



「『しがぎん』スポーツ応援定期 ^{あす}未来リーと」
「レイクス・スポーツファンド」へ1,330千円を贈呈

2016年10月4日、「『しがぎん』スポーツ応援定期 ^{あす}未来リーと」からの拠出金*1,330千円を、昨年に引き続き「レイクス・スポーツファンド」へ贈呈いたしました。2016年7月末時点の本定期預金残高は約266億円と



なっており、大変多くのお客さまからご支持いただいております。今後もお客さまとともに、滋賀県ゆかりの未来のアスリートを応援してまいります。

*お客さまにお預入いただいた本定期預金の7月末残高の0.005%相当額を寄付します。お客さまにご負担はありません。

頑張る受験生の皆さんを応援!

入学試験に向け頑張る受験生の皆さんを応援して、店頭で受験料のお振込をされたお客さま先着25,000名に、「合格祈願鉛筆」をプレゼントしています。

この鉛筆は、合格を願って「五角(形)」とし、近江神宮にて合格祈願のご祈祷をいただきました。

【配布期間】
2016年9月1日(木)～
2017年3月31日(金)

*各店でなくなり次第、
終了させていただきます。



地域活性化に向けて事業者の皆さまを 細やかにサポートしてまいります



京都府全域でのコンサルティング業務を強化 「京都戦略室」を設置

2016年6月24日、京都支店内に「京都戦略室」を、営業統轄部内に「京都戦略サポートチーム」を設置しました。当行は京都府を「地元」と位置付けた活動を早くから展開していましたが、これにより法人および個人のお客様に対するコンサルティング業務をさらに強化してまいります。これからもお取引先、地域社会の発展に寄与する取り組みを実践してまいります。

環境ビジネス取組企業の販路拡大をサポート 「『しがぎん』エコビジネス マッチングフェア2016」開催



2016年7月6日、環境関連事業に特化した商談会「『しがぎん』エコビジネスマッチングフェア2016」を開催しました。9回目となる今回は、新設の「エコプロダクツ」分野を含め9つのテーマを設置。取引先企業など88社・団体が出展されました。当日は1,420人が来場され、有効商談は583件。同日中に5件が成約し契約金額は6億円に上るなど、活気ある商談会となりました。

企業のライフステージに応じた取り組み

◆ ニュービジネスの支援

あす
未来を担う次世代ビジネスの創造を目指して、「サタデー起業塾」によるビジネスヒントの提供、ニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携サポートなどに取り組んでいます。

ビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

ヘルスケア・バイオ、地域資源、IoT・FinTechなどのテーマに沿って、年に5回、各分野で活躍されている経営者の講演などを行っています。



しがぎん「野の花賞」

産学官連携でニュービジネスに取り組み、成果を上げられた「サタデー起業塾」の受講生を表彰しています。



しがぎん「野の花賞」一新・「協賛企業賞」新設

今回より「協賛企業賞」を新設。エントリー企業に対し、株式会社リパネスや野の花応援団と連携してビジネスプラン策定やブラッシュアップを個別にサポートいたします。

NEW!!

◆ M&A、事業承継・資産承継対策

後継者問題の解消や創業者利益の実現、持続可能な成長の実現などに向け、必要に応じて外部専門機関と連携を図りつつ、M&Aアドバイザー業務に取り組んでいます。また、事業や資産承継に関して、経験豊富な中小企業診断士や1級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を有する行員が、最適のご提案を行っています。





海外ビジネスも しがぎんにお任せください。

海外ビジネス支援による「地方創生」
国際協力機構（JICA）と
「業務提携に関する覚書」締結！

西日本の
民間金融機関で
初！！

お取引先への海外展開支援の体制を強化するため、2016年7月14日、独立行政法人国際協力機構（JICA）と「業務提携に関する覚書」を締結しました。JICAの海外ネットワークを活用し、途上国への海外展開を検討・予定されているお取引先に対し、現地情報の取得やネットワークの構築など、一層充実したサポートを行うことが可能となります。



(左) 若林常務
(右) JICA大西靖典 関西国際センター所長

JICAってどんな機関？

アジア・アフリカなど途上国を中心に海外91拠点をもち、日本の人材や技術、資金を活用して途上国の貧困削減、生活向上、衛生環境改善といった事業に取り組まれている機関です。2012年度からは、途上国の開発課題を解決できる製品・技術を持った中小企業の海外展開支援を行ってまいります。



「地域密着型連携協定」による取り組み 第6回「アジア展開セミナー」

2016年9月7日、公益財団法人滋賀県産業支援プラザと第6回「アジア展開セミナー」を開催しました。「海外の「活力」をビジネスに取り込む～ハラル市場への挑戦～」をテーマに、経済発展が期待されるASEAN市場や18億人200兆円といわれるイスラム消費市場への販路拡大の「ヒント」を、現地で活躍されている講師よりご提供いただきました。

滋賀県の魅力を世界へ発信！

「『食と観光』トッププロモーション」に開催協力

2016年11月8日から5日間、東南アジア地域における県産食材・特産品の販売促進、また観光誘客促進を目的に、ベトナムとタイで「『食と観光』トッププロモーション」が開催されました。当行も開催協力銀行として、現地のバイヤーやエージェントに対し、県内事業のPR活動を行いました。



海外現地レポート

「日本秋祭in香港～魅力再発見～」



2016年10月から2カ月間、「香港で日本を楽しもう」をテーマに「日本秋祭in香港～魅力再発見～」が開催され、100以上のイベントが秋祭の認定行事として開かれました。香港は、人口当たりの訪日旅行客数が多く、日本食の輸入量は世界一。また日本カルチャーの浸透も進んでいる、日本ファンの多い国です。今年で4度目となる「縁日EEN×NICHU」というイベントでは、お神輿や盆踊りなどの伝統文化だけでなく、日本のご当地キャラや香港地下アイドルによるステージなど、バラエティに富んだ催しがあり、延べ来場者数は5万人を超えるほどの大盛況でした。このイベントを通じて、日本の魅力を再発見していただき、ますます日本文化への理解が深まることを期待しています。





「クリーンバンクしがぎん」を目指して 着実に歩みを進めてまいります

子どもたちの学びや成長を応援する物品を寄贈
CSR私募債「つながり」が好評!

発行数
160件
超!

企業さまのCSR私募債※発行記念として、発行金額の0.2%相当額を当行が拠出し、学校等に、図書やスポーツ用品など、「子どもたちの学びや成長を応援する物品」を寄贈しています。2014年11月の取扱開始から、本私募債の発行は161件まで増加しています。これまで110の小学校等に、あわせて2,018万円相当の寄贈品を贈呈しました。(2016年9月末現在)



CSR私募債とは

財務内容等の厳しい適債基準を満たし、かつ当行独自の環境格付「PLB格付」にて一定水準の格付を得られた企業さまが発行される債券



銀行の仕事を体験! 金融教育に向けた取り組み

○「中学生チャレンジウィーク」

金融教育の一環として中学2年生を対象とした職場体験「中学生チャレンジウィーク」に協力しています。今回のプログラムでは、本店ロビーでの接客や通帳作成、またグループ会社の仕事を体験いただきました。「働くこと」に対する視野を広げるきっかけになればと願っています。

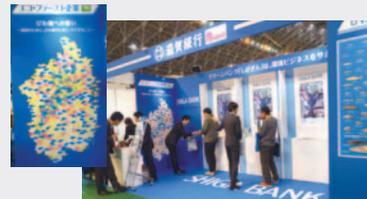
○「しがぎんジュニア探検隊」

2016年8月19日、役員員の子どもたちを対象とした職場体験「しがぎんジュニア探検隊」を実施しました。銀行のしくみやお金の役割を学び、また親の仕事を知ること、子どもたちに「働くこと」や「社会」を理解していただくとともに、親子のコミュニケーションを深める機会となることを目指しています。



環境ビジネスの最前線、さらにその先へ 「びわ湖環境ビジネスメッセ2016」に出展

2016年10月19日より3日間、長浜バイオ大学ドームにて、「びわ湖環境ビジネスメッセ2016」が開かれました。当行は、しがぎん経済文化センターと共同でブースを出展。「環境ビジネスのサポート」をテーマに、デジタルサインージュを使用し「環境金融」や「環境経営」など、当行の環境への取り組みについてご紹介しました。当日は、ご来場のお客さまに「びわ湖への誓い」として、それぞれが考える環境への決意を掲げていただきました。



環境への取り組みが評価 環境に関する各種表彰を受賞!

〈「びわこ地球市民の森」植樹完了記念知事表彰〉 主催：滋賀県

2016年5月29日、「びわこ地球市民の森」の植樹活動が完了したことに加え、2003年(当行創立70周年)より長年にわたり継続して植樹活動等の取り組みを行ってきたことが評価され、滋賀県より「『びわこ地球市民の森』植樹完了知事表彰」をいただきました。



(左)小西執行役員人事部長
(右)三日月滋賀県知事

〈滋賀県環境保全協会長表彰〉 主催：(公社)滋賀県環境保全協会

2016年5月31日、当行の環境経営のサイクル(環境金融→環境ボランティア→エコオフイスづくり)を通じて、環境保全の普及活動や継続的な環境負荷低減活動を行い成果を上げた事業所として、「滋賀県環境保全協会長表彰」をいただきました。





お客さまと地域の成長の ために、 ともに歩んでまいります

個人・法人ともに順調に増加

預金等

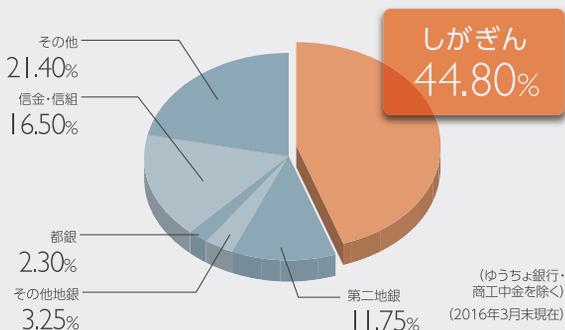
当期も地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は前年同期比457億円増加し、4兆4,369億円と順調に推移しています。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆2,884億円で同169億円の増加となりました。

預金等(譲渡性預金含む) 期中平均残高

単位:億円



預金残高「滋賀県内シェア」



事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

貸出金

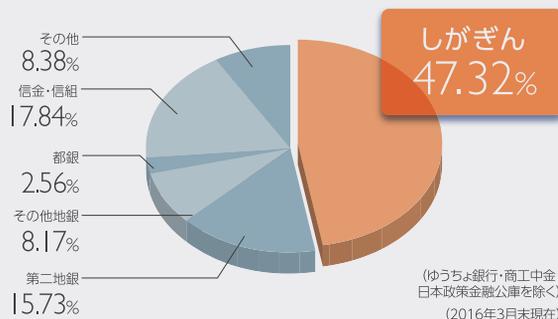
当期は、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出がそれぞれ増加し、期中平均残高は3兆2,801億円となりました。前年同期比2,024億円、6.57%の増加となりました。

貸出金 期中平均残高

単位:億円



貸出金残高「滋賀県内シェア」





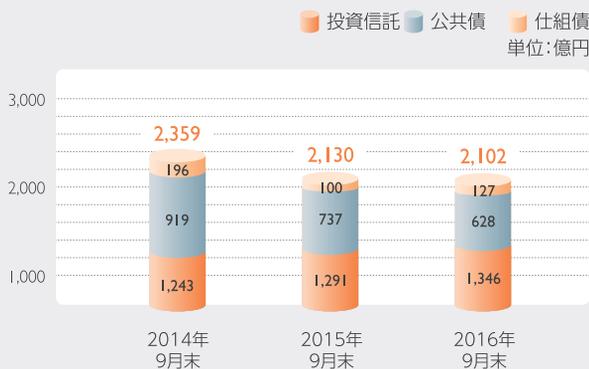
資産の運用も お任せください

多様な資産運用ニーズを親身にサポート

預り資産 残高

投資信託、公共債等の預り資産残高(取扱保険料累計額含まず)は2,102億円で、前年同期末比27億円の減少、うち個人の預り資産残高は1,996億円で、同33億円の減少となりました。期中販売額は投資信託が142億円減少の204億円、保険が82億円減少の107億円となりました。

預り資産残高



投資信託・保険期中販売額



格付は安心の 「Aクラス」を確保

2つの格付機関が「A+」と高い評価

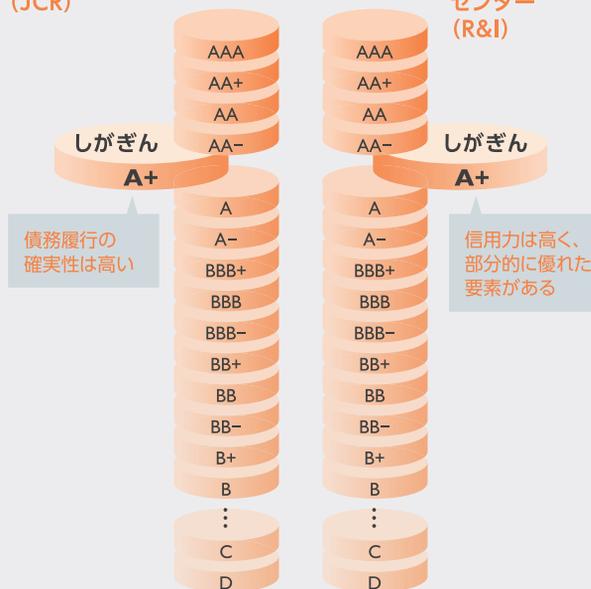
格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

日本格付研究所
(JCR)

格付投資情報
センター
(R&I)



用語説明

格付

銀行預金の元金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。



これからも「安全」「健全」な経営に努めます

自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

自己資本比率 (連結)

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を測る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。当行の自己資本比率は16.30%（バーゼルⅢ基準、2016年9月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

2016年9月末

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	16.30%	8.0%以上
同 Tier1比率	13.43%	6.0%以上
同 普通株式等Tier1比率	13.37%	4.5%以上

※2013年3月末より、バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

(ご参考：自己資本比率推移)



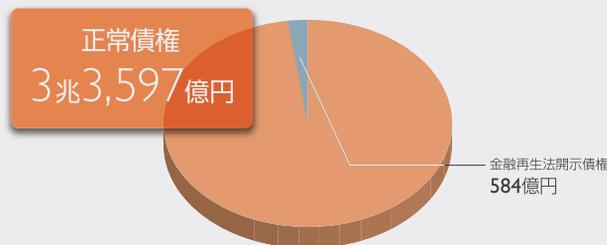
用語説明

自己資本比率

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が平成25年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

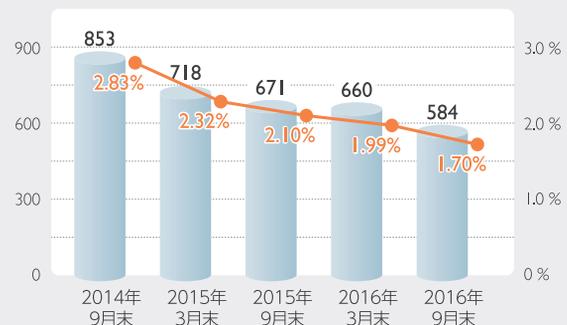
不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の合計は前期末（2016年3月末）比75億円減少し584億円、総与信に占める比率は1.70%で同0.29%の低下となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は75.74%で同0.93%の上昇となりました。



金融再生法開示債権

単位：億円



用語説明

不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

お知らせします、 しがぎんの業績



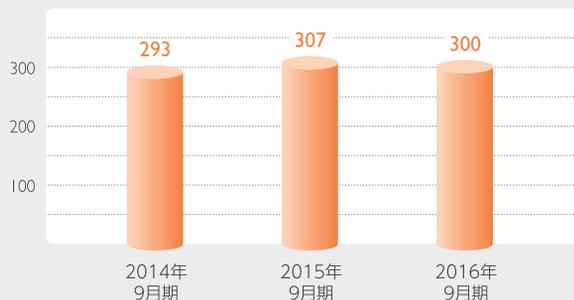
業績ハイライト

- 貸出金利息の減少を主因に資金利益は前年同月比9億円減少する一方で、債券関係損益と金融派生商品損益が合計で同4億円増加したことなどから、業務粗利益は同6億円の減益となりました。
- 経費は人件費の減少を主因に前年同期比5億円の減少となりました。株式等関係損益は前年同期比5億円減少しましたが、当中間期の与信コストは6億円の戻入で同15億円減少したことなどから、経常利益は微減（前年同期比59百万円の減益）となりました。また、特別損益は前年同期比2億円の良化、法人税等合計は同4億円減少しました。
- これらの結果、中間純利益は87億円となり前年同期比6億円の増益となりました。

業務粗利益

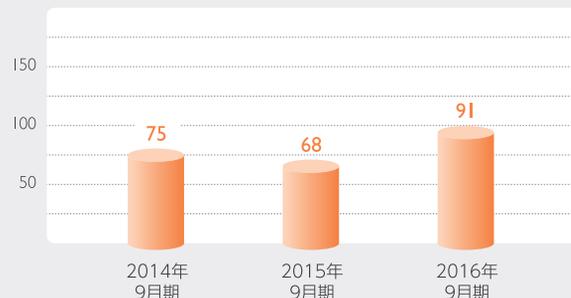
銀行本来の業務（貸出業務、為替業務、有価証券運用など）から得た利益です。

単位：億円



業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。業務純益＝業務粗利益－経費（人件費、物件費など）－一般貸倒引当金繰入額 単位：億円



経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

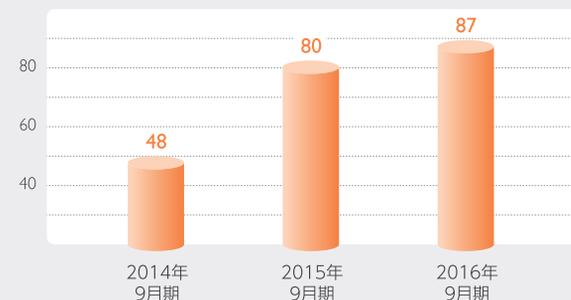
単位：億円



中間純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な利益です。

単位：億円



お客さま・地域と ともに未来へ歩む



地方銀行は地域社会と歩みをともし、地域の成長なくして当行の成長はありません。

私たちの使命は「地域社会の未来」を見すえた銀行経営を通じて、CSR憲章にかかげる「共存共栄」を実現していくことにあります。そのために、第6次中期経営計画（2016年4月～2019年3月）において、当行が長期的に目指すべき姿を「未来創造銀行『The・ちぎん』」といたしました。

「未来創造銀行」には、当行に係わるすべてのステークホルダーの未来を創るとの決意を込めており、地域密着型金融による「地方創生」の実現こそが地域金融機関の果たすべき責務と認識しています。当行は、引き続き3つの視点（「お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「地域やお客さまに対する積極的な情報発信」）を踏まえて、地域密着型金融の推進に取り組んでまいります。

第6次中期経営計画の概要（2016年4月～2019年3月）

メインテーマ	チェンジ & チャレンジ			
長期的に 目指すべき姿	未来創造銀行「The・ちぎん」			
基本戦略	3 3つの チェンジ	<p>お客さま 対応スピード のチェンジ “ファースト・ コミュニケーション バンク” 一番に相談され、最も速く、親切・親身に対応する銀行 First & Fast</p>	<p>組織運営 スピード のチェンジ “より速く もっと果敢に” 実行までのスピードを上げ、決めたことは必ず最後までやりきる決意</p>	<p>コスト構造 のチェンジ “筋肉質な銀行” 経営効率の改善に向け、聖域を設けず抜本的な構造改革に取り組む</p>
	5 5つの 挑戦	<p>地方創生への挑戦</p>	<p>トップライン増強への挑戦</p>	<p>生産性向上への挑戦</p> <p>強靱な経営基盤構築への挑戦</p> <p>戦略的CSRへの挑戦</p>

トピックス TOPICS ②

『しがぎん』で iDeCo 個人型DC（確定拠出年金）

法改正により、2017年1月から加入対象者が拡大し、専業主婦、公務員の方を含め、基本的に60歳未満のすべての方が利用可能となりました!!



iDeCo（個人型確定拠出年金）とは？

加入者が毎月拠出する掛金額を決め、その掛金を自ら運用し、運用結果に応じた年金を60歳以降に受け取る年金制度です。

iDeCoの3つの税制優遇



掛金が全額所得控除されます

例えば、毎月2万円ずつ掛金を拠出した場合、税率20%とする年間4万8千円の節税効果となります。

運用益も非課税で再投資されます

通常、金融商品の運用益には税金（源泉分離課税20.315%）がかかりますがiDeCoの運用益は非課税です。

※積立金には別途1.173%の特別法人税がかかりますが、現在まで課税が凍結されています。

受け取る時も税制優遇措置があります

一時金は「退職所得控除」、年金は「公的年金等控除」という大きな控除が受けられます。

ご加入時の留意点

- 原則60歳までは途中引出、脱退はできません
- 自己責任の年金制度です ■各種手数料がかかります
- 加入期間により受給開始年齢が繰り下げられます



iDeCo（イデコ）は、
滋賀銀行でお申込みいただけます

詳しくは滋賀銀行確定拠出年金（個人型）プラン説明書をご覧ください。

お問い合わせは滋賀銀行の窓口またはコールセンターへ
0800-123-1164
フリーコール【受付時間】平日9:00～17:00（銀行休業日を除く）

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(2016年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	215,060	預 金	4,344,654
コールローン及び買入手形	3,560	譲 渡 性 預 金	82,428
買入金銭債権	5,038	コールマネー及び売渡手形	109,145
商品有価証券	175	債券貸借取引受入担保金	53,937
金銭の信託	10,860	借 用 金	89,289
有価証券	1,442,711	外 国 為 替	77
貸 出 金	3,363,146	新株予約権付社債	20,224
外国為替	7,310	そ の 他 負 債	34,233
その他資産	56,261	退職給付に係る負債	12,286
有形固定資産	58,825	役員退職慰労引当金	11
無形固定資産	3,727	睡眠預金払戻損失引当金	759
繰延税金資産	644	利息返還損失引当金	66
支払承諾見返	25,900	偶発損失引当金	184
貸倒引当金	△29,967	繰延税金負債	27,027
		再評価に係る繰延税金負債	7,337
		支 払 承 諾	25,900
		負債の部合計	4,807,566
		(純資産の部)	
		資 本 金	33,076
		資 本 剰 余 金	23,962
		利 益 剰 余 金	180,297
		自 己 株 式	△3,466
		株 主 資 本 合 計	233,870
		その他有価証券評価差額金	107,077
		繰延ヘッジ損益	△2,009
		土地再評価差額金	11,798
		退職給付に係る調整累計額	△606
		その他の包括利益累計額合計	116,260
		新 株 予 約 権	94
		非支配株主持分	5,463
		純資産の部合計	355,689
資産の部合計	5,163,255	負債及び純資産の部合計	5,163,255

中間連結損益計算書

(2016年4月1日から2016年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	
経 常 収 益		47,251
資金運用収益	26,059	
(うち貸出金利息)	(19,145)	
(うち有価証券利息配当金)	(6,784)	
役 務 取 引 等 収 益	7,099	
そ の 他 業 務 収 益	10,764	
そ の 他 経 常 収 益	3,328	
経 常 費 用		35,029
資金調達費用	1,643	
(うち預金利息)	(835)	
役 務 取 引 等 費 用	2,291	
そ の 他 業 務 費 用	7,802	
営 業 経 費	22,152	
そ の 他 経 常 費 用	1,140	
経 常 利 益		12,221
特 別 利 益		-
固 定 資 産 処 分 益	-	
特 別 損 失		30
固 定 資 産 処 分 損	30	
減 損	-	
税金等調整前中間純利益		12,191
法人税、住民税及び事業税	2,454	
法 人 税 等 調 整 額	255	
法 人 税 等 合 計		2,710
中 間 純 利 益		9,481
非支配株主に帰属する中間純利益		163
親会社株主に帰属する中間純利益		9,317

中間単体財務諸表

第130期中 中間貸借対照表

(2016年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	214,996	預金	4,349,196
コールローン	3,560	譲渡性預金	93,028
買入金銭債権	5,038	コールマネー	109,145
商品有価証券	175	債券貸借取引受入担保金	53,937
金銭の信託	10,860	借入金	78,407
有価証券	1,441,584	外国為替	77
貸出金	3,373,213	新株予約権付社債	20,224
外国為替	7,310	その他負債	20,299
その他資産	23,524	未払法人税等	2,008
その他の資産	23,524	その他負債	18,291
有形固定資産	58,455	退職給付引当金	11,318
無形固定資産	3,617	睡眠預金払戻損失引当金	759
支払承諾見返	25,900	偶発損失引当金	184
貸倒引当金	△28,170	繰延税金負債	27,266
		再評価に係る繰延税金負債	7,337
		支払承諾	25,900
		負債の部合計	4,797,085
		(純資産の部)	
		資本金	33,076
		資本剰余金	23,942
		資本準備金	23,942
		その他資本剰余金	-
		利益剰余金	172,605
		利益準備金	9,134
		その他利益剰余金	163,470
		固定資産圧縮積立金	400
		固定資産圧縮特別勘定積立金	220
		別途積立金	152,293
		繰越利益剰余金	10,555
		自己株式	△3,466
		株主資本合計	226,158
		その他有価証券評価差額金	106,940
		繰延ヘッジ損益	△2,009
		土地再評価差額金	11,798
		評価・換算差額等合計	116,729
		新株予約権	94
		純資産の部合計	342,982
資産の部合計	5,140,067	負債及び純資産の部合計	5,140,067

第130期中 中間損益計算書

(2016年4月1日から2016年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	
経常収益		39,447
資金運用収益	26,043	
(うち貸出金利息)	(19,139)	
(うち有価証券利息配当金)	(6,778)	
役員取引等収益	5,931	
その他業務収益	4,127	
その他経常収益	3,344	
経常費用		28,388
資金調達費用	1,615	
(うち預金利息)	(836)	
役員取引等費用	2,521	
その他業務費用	1,881	
営業経費	21,234	
その他経常費用	1,135	
経常利益		11,058
特別損失		29
固定資産処分損失	29	
減損損失	-	
税引前中間純利益		11,029
法人税、住民税及び事業税	2,073	
法人税等調整額	235	
法人税等合計		2,309
中間純利益		8,720

株式の状況をお知らせします

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行済株式総数 265,450千株

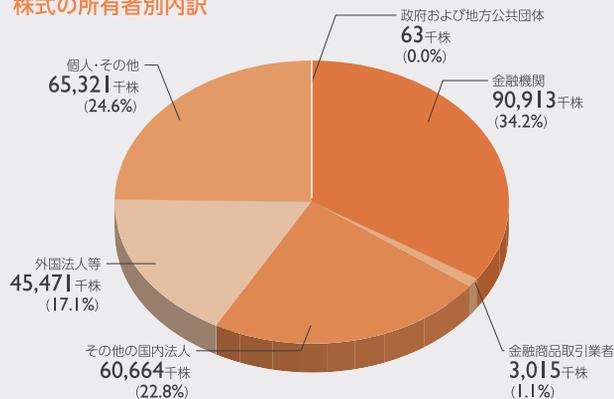
株主数 11,897人

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,302千株	5.01%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	9,518千株	3.58%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,431千株	3.55%
日本生命保険相互会社	8,054千株	3.03%
明治安田生命保険相互会社	7,999千株	3.01%
滋賀銀行従業員持株会	6,765千株	2.54%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	5,802千株	2.18%
株式会社みずほ銀行	5,600千株	2.10%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,846千株	1.82%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,368千株	1.64%
計	75,687千株	28.51%

※当行は自己株式5,104千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合は1.92%)を所有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。

株式の所有者別内訳



株式のご案内

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

基準日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

公告方法

電子公告により当行ホームページ(<http://www.shigagin.com/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

1,000株

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先／各種お問合せ先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

●各種事務に関するご照会 電話0120-094-777(通話料無料)
[受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日、12月31日~1月3日を除く)]

●ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取り次ぎいたします。

株式に関する各種お手続き

「届出住所・姓名などの変更」、「配当金の振込先の指定または変更」、「単元未満株式の買取・買増請求」などにつきましては、口座を開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行)へお申し出ください。
未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払いにつきましては、上記の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

役員一覧

取締役会長	大道良夫	取締役	北川正義
取締役頭取	高橋祥二郎	※1取締役(非常勤)	引馬 滋
専務取締役	奥 博	※1取締役(非常勤)	辻田素子
専務取締役	今井悦夫	監査役(常勤)	西澤由紀夫
常務取締役	林 一義	監査役(常勤)	長谷川雅人
常務取締役	大野恭永	※2監査役(非常勤)	西川 聡
常務取締役	若林岩男	※2監査役(非常勤)	安井 肇
常務取締役	西 基宏	執行役員	小西哲也
取締役	森本 勝	執行役員	中島浩之
取締役	小八木一男	執行役員	竹村雅人
取締役	西藤崇浩	執行役員	青木和夫

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社 (2016年9月30日現在)

会社名	主な事業内容
しがぎんビジネスサービス株式会社	事務代行業務、不動産管理業務
しがぎん代理店株式会社	銀行代理店業務
しがぎんキャッシュサービス株式会社	現金精査・整理、ATM管理業務
滋賀保証サービス株式会社	信用保証業務、貸出担保評価・管理業務
しがぎんコンピュータサービス株式会社	事務計算受託業務
株式会社しがぎん経済文化センター	コンサルティング業務
株式会社滋賀ディーシーカード	クレジットカード業務、信用保証業務
しがぎんリース・キャピタル株式会社	リース・投資業務
株式会社しがぎんジェーシービー	クレジットカード業務

トピックス
TOPICS ③

愛らしい「しがぎん」の盛り上げ隊長

『しがの助』



5月28日(土)、当行オリジナルキャラクター「しがの助」が登場しました!琵琶湖を代表する渡り鳥「コハクチョウ」をモチーフとした「しがの助」。

子どもからお年寄りまで、地域の皆さまに寄り添い愛されるキャラクターを目指して活動してまいります。

出身地	滋賀県
誕生日	10月1日(滋賀銀行の設立日と同じ)
性別	男の子
性格	優しくて、好奇心旺盛
趣味	湖岸のお散歩、琵琶湖で水浴び
お仕事	しがぎんの 広報活動のほか 滋賀の魅力も発信

